

## 【授業改善推進プラン 4年 国語】

児童の状況	<ul style="list-style-type: none"><li>○国語の学習に対する意欲が高く、主体的に取り組む児童が多い。</li><li>○漢字の読み書きや言葉のきまりなど、基礎知識と技能の定着には個人差が大きい。</li><li>○文章の内容を正確に読み取る力に個人差がある。</li><li>○自分の考えを書くことはできるが、理由や根拠を明確にすることが難しい。</li></ul>
指導についての課題	<ul style="list-style-type: none"><li>○漢字などの基礎知識を定着させるための時間を十分に確保する必要がある。</li><li>○物語文や説明文の丁寧な読み取りが必要となる。</li><li>○個人で考える場面と話し合いや学びあいの場면을計画的に設定する必要がある。</li></ul>
授業改善にむけての具体的方策	<ul style="list-style-type: none"><li>○漢字の小テストや辞書を使って調べる活動を定期的に行い、定着を図る。</li><li>○話し合い、学びあいの場面の計画的な設定をする。</li><li>○ICTを活用しながら多くの友達と意見交流し、自分の考えを深められるようにする。</li><li>○自分の考えを書く時間の確保をする。</li><li>○音読活動を通して、文章理解を深めさせる。</li></ul>
読み解く力の育成	<ul style="list-style-type: none"><li>○文章の中から主語・述語を押さえる。</li><li>○「その」「あの」「この」などの指示語は、何を示しているのか丁寧に押さえる。</li><li>○文章中の難しい言葉の意味を丁寧に押さえる。</li></ul>

# 【授業改善推進プラン 4年 社会】

<p>児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○社会的事象（社会に関わるできごと）に対する関心・意欲は高い。</li> <li>○資料から事実を読み取ることはできるが、問題解決に必要な事実だけを選び出すことを、やや苦手になっている。</li> <li>○学習の振り返りにおいて、きちんと書き表すことができる児童とできない児童の差が比較的大きい。</li> </ul>
<p>指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○単元の初めなどで、児童の興味や関心を高める社会的事象に触れさせる指導が不足している。</li> <li>○授業中に児童たちを見取る時間が十分に確保できていない。そのため支援が行き届いていないことがある。</li> <li>○個の差が大きいことから、自力解決の場を設けても全員に支援が行き届かないことがある。</li> </ul>
<p>授業改善にむけての具体的方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○前もって授業に活用可能な社会的事象を集めておくなど、事前の授業準備を丁寧に行う。</li> <li>○授業の初めに前の時間に学習した基本的な内容を振り返らせる。また、授業終了時に、基本事項の確認をする時間をとる。</li> <li>○友達との意見の交流をもたせる。</li> <li>○授業の終わりに振り返りをノートに書かせる際、文書の型や、ヒントカードを与えるなど、必要に応じて支援を行い、個に応じた振り返りができる機会をもてるようにする。</li> </ul>
<p>読み解く力の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○資料の読み取りに際して、読み取りの視点を与えるとともに、何が分かったのか発表させ、その根拠を問う。</li> <li>○多くの資料と触れる機会を授業の中に取り入れる。</li> <li>○資料読み取りに際して、グラフ、表、地図など文章以外の資料にも多く触れさせる。</li> <li>○単元のまとめの際には、各学習であつかつてきた資料を再度使用し、その資料が何を表していたり、どういった役割をしていたりするかとまとめられる機会をもつようにする。</li> </ul>

# 【授業改善推進プラン 4年 算数】

<p>児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○意欲的に取り組む児童が多いが、差もやや見られる。</li> <li>○計算力や基本的な用語の意味理解・定着などは、個人差が大きい。</li> <li>○新しい問題の解き方を考える際に、習ったことを活用したり筋道立てて考えたりする力、言葉・式・絵や図などを用いて解き方を表す力が不十分である。</li> <li>○自分の解き方をわかりやすく伝える力がやや不足している。</li> <li>○他者の解き方の説明を聞いた際、自分の考えと比べ疑問点を意見として述べたり質問したりする力が不足している。</li> </ul>
<p>指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○授業のゴールが明確になるように、授業始めの「めあて」を常に工夫する必要がある。また、振り返りにおいて、「分かったこと」「難しかったこと」など振り返る視点が示されていないことがある。</li> <li>○問題を解くための戦略を身に付けさせるために、指導の工夫が更に必要である。</li> <li>○解けずに困っている児童に対しての支援方法を更に研究する必要がある。</li> <li>○児童の発言力（特に対話的な話し合いの仕方）を高めるための具体的手だてを更に増やす必要がある。</li> </ul>
<p>授業改善にむけての具体的方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○授業のゴールがよく分かるよう、「めあて」の文言を示す。</li> <li>○解き方が分からない児童を適宜集め、問題を解く手順を考えさせるなど、具体的なアドバイスをおくる。</li> <li>○ノートのかき方・発問や解法でよいものを取り上げ全体に示すことにより、表現力・思考力を高めさせる。</li> <li>○児童が解決法を説明する際、必要に応じて指導者が補助をする。また、価値のある発言や質問を取り上げ、よい点を具体的に示す。</li> <li>○時間を5分確保する・視点を明確に示すなどして、振り返りをより充実させる。</li> <li>○電子黒板やタブレットなどを活用し、分かりやすく魅力ある授業を行う。</li> </ul>
<p>読み解く力の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○文章題の内容を確実に理解させるために、「わかっていること」「聞かれていること」に線を引かせ全体で確認する。また、必要に応じ数直線や線分図、絵などを利用し、文章題理解の一助とする。</li> <li>○問題を一人一人が考えた後、解決法を書いたノートを児童同士で読み合う時間を設け、他の児童が考えた解決法を読み取る力を伸ばす。</li> <li>○解き方を発表する際、初めに児童の解き方を黒板に記す。そして、どのように解決したのか考える時間を設け、図や表・式などから解き方を読み取る力を伸ばす。</li> <li>○定義となる語彙が新たに登場した際、ノートに記載させ全員で読ませたり、当てはまる具体例を考えさせたりすることにより、新しい語彙を確実に定着させる。</li> </ul>

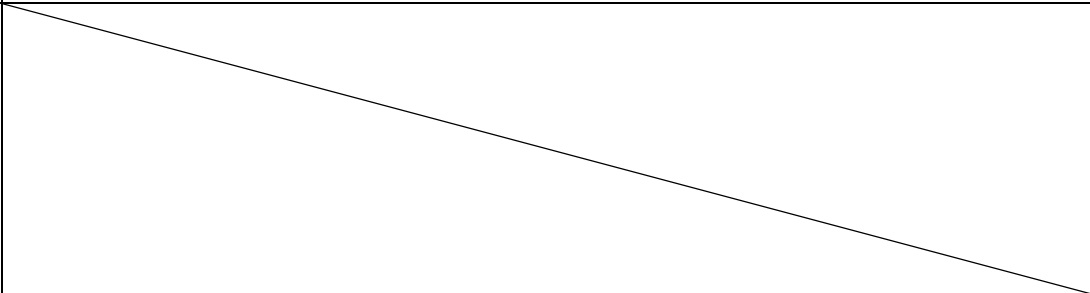
# 【授業改善推進プラン 4年 理科】

<p>児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○基礎的・基本的な知識が定着しておらず、それを踏まえての考察ができない児童がいる。</li> <li>○学習活動に対する意欲に差があり、班で行う実験活動で自分からあまり動かない児童の姿が見られる。</li> <li>○観察や実験を行っても、なぜその実験を行っているのか、その実験で何を確かめたいのかをつかんでいない児童がいる。</li> <li>○これまで学習したことや身の回りの事象から予想を立てたり、実験計画を考えたりすることができる児童が多く、多様な活動につながっている。</li> </ul>
<p>指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習したことを生かしたり、自身の身の回りの生活と関連して考えたりする活動が不足している。</li> <li>○観察を通して問題を解決する学習では、結果からわかることを考える時間が不足していた。</li> <li>○振り返りを通して、わかったことや考えたことを簡潔にまとめる指導を継続する必要がある。</li> </ul>
<p>授業改善にむけての具体的方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学びを深める問題を解く時間を取り入れたり、振り返ったりする際に自身の身の回りの生活と関連させて考えるよう促す。</li> <li>○自分の考えを表現する時間を確保し、必要に応じて書き方の支援を行う。</li> <li>○空いた時間にプリントの学習などを取り入れ、知識の定着をより確実にする。</li> </ul>
<p>読み解く力の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○疑問に思ったことに対する予想や、実験結果をもとにどんなことが言えるかを考え、表現する活動を行う。</li> <li>○観察、実験の結果を表やグラフに整理したり、予想や仮説と関係付けながら文章でまとめてノートに記述したりする活動を取り入れる。</li> </ul>

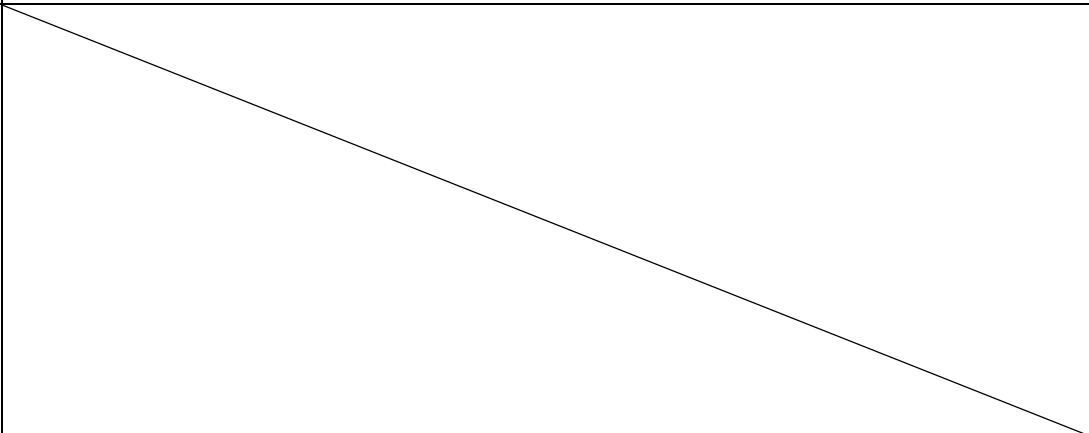
# 【授業改善推進プラン 4年 音楽】

児童の状況	<ul style="list-style-type: none"><li>○学習規律が定着しつつある。</li><li>○お互いを認め合う雰囲気があり、安心して表現活動ができている。</li><li>○友だちと考えを伝え合ったり、教え合ったりしながら学ぶ姿がみられる。</li><li>○既習の知識や技能の定着に児童間で差がある。</li></ul>
指導についての課題	<ul style="list-style-type: none"><li>○学習の技能の定着に遅れがある児童に対しての補習にかかる時間が十分ではない。</li><li>○表現活動に一部制約があるため、自分の出している音に集中したり、友達と音を合わせたりする場面が少ない。</li></ul>
授業改善にむけての具体的方策	<ul style="list-style-type: none"><li>○学習のルールを再度確認する。</li><li>○机間指導や個別に演奏する時間を設け、個に応じた支援できるようにする。</li><li>○換気を徹底し、横一列や半円の隊形で並んだり、フェイスシールドを使用したりして、飛沫防止対策を工夫し歌唱やリコーダーなどを使用した表現活動を実施する。</li></ul>
読み解く力の育成	

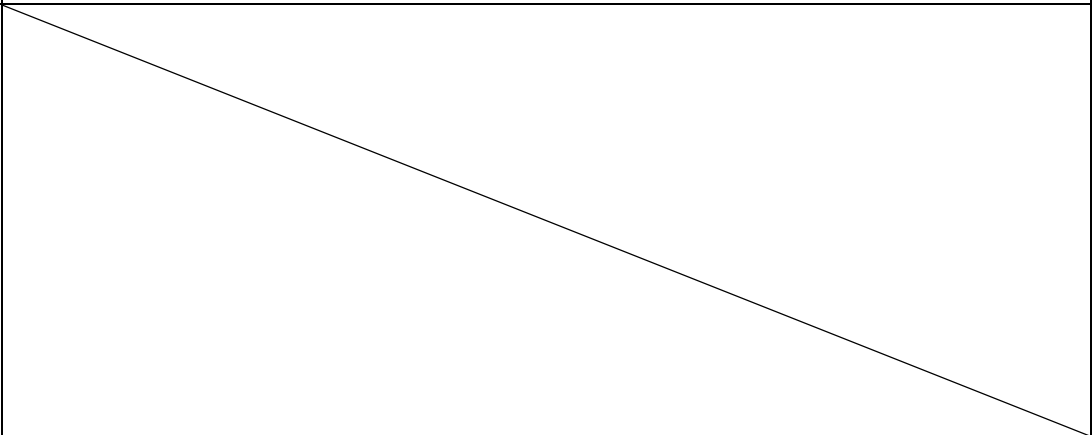
# 【授業改善推進プラン 4年 図工】

<p>児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○カッターやカナヅチ、ノコギリなどの用具や、絵の具の混色、パステルなどの画材技能などの既習事項は十分な経験がある。しかし、そのような知識や技能の定着には児童間に差がある。（知識・技能）</li> <li>○自分なりに作りたいものを発想できる児童が多い。しかし、自分の作品を客観的に見ることができず、仕上がりや完成度が不十分な児童もいる。（思考・判断・能力）</li> <li>○図工全般に対して意欲的である。また、互いを認め合う雰囲気があり、心理的安全性の高い状態で活動することができている。しかし、それが特定の児童間だけになってしまう児童もいる。（主体的に学習に取り組む態度）</li> </ul>
<p>指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○完成度を高める意識が低い児童や、技能の定着が十分ではない児童に向けた、より効果的な個別の指導の技術や言葉かけが必要である。。</li> <li>○表現活動に一部制約があるため、造形遊びや鑑賞等の共同的な学習の体験が十分ではない。</li> </ul>
<p>授業改善にむけての具体的方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○技能を定着していくために、既習事項を振り返る時間や、既習事項を生かしている児童の作品紹介などを行う。</li> <li>○各題材に色々な形式で鑑賞の時間を設けることで、児童の客観的な判断力や鑑賞の力を伸ばす。</li> <li>○特定の児童間だけの交流にならないよう、班の構成を変えたり、共同して制作する題材をバランスよく取り入れたりする。</li> <li>○新型コロナ感染症対策や感染数などの状況を見極めながら、予定している単元を組み替えながら、造形遊び等の学習活動を行っていく。</li> <li>○教師の板書から、児童が自身でめあてを設定し、その時間の取り組み目標を持つ。併せて、そのめあてをもとに、その日の活動を振り返る活動を毎時間設定する。</li> </ul>
<p>読み解く力の育成</p>	

# 【授業改善推進プラン 4年 体育】

<p>児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○体を動かすことは好む児童が多い。</li> <li>○協力して運動する態度がよく育っている。</li> <li>○学習のめあてを意識して練習に取り組む姿があまり見られない。</li> <li>○友達の技などを観察し、それを自分のものとして取り入れる力がやや弱い。</li> <li>○自分なりの課題を見付けることのできる力が十分に育っているとは言えない。</li> </ul>
<p>指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○一人一人に合った技能の積み重ねができる学習活動や場の工夫をさらに行う必要がある。</li> <li>○縄跳び運動など、日常的に運動できる活動や場をもっと増やす必要がある。</li> <li>○学習のめあてをもたせることや、めあてに即して練習したり振り返りをしたりすることが指導として不十分である。</li> <li>○ICT機器を活用した指導方法が確立できておらず使用場面がほとんどない。</li> <li>○一人一人に課題を意識させるための言葉掛けが充分に行うことができていない。</li> </ul>
<p>授業改善にむけての具体的方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○技能ポイントを示した鉄棒カードや縄跳びカードを利用することで、目標をもってすすんで取り組めるように指導する。</li> <li>○十分に取得できていない技能は、学年をさかのぼって練習できるような学習の場を構成する。</li> <li>○技能の高い児童の演技を全体の前で紹介するなど、モデルとなるものを示し、参考にさせる。</li> <li>○ワークシートに「めあて」「活動」「ふり返り」を盛り込み、1時間あたりの内容を意識して学習できるようにする。</li> </ul>
<p>読み解く力の育成</p>	

## 【授業改善推進プラン 4年 総合的な学習の時間】

<p>児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習に対する関心は高く、意欲的に取り組む。</li> <li>○学習のめあてを意識して取り組むことのできる児童が多くなってきた。</li> <li>○タブレットを活用することで、様々な情報を取り入れようとする姿勢が身に付いてきた。</li> </ul>
<p>指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○活動の見通しをもたせることがしっかりとできていない。</li> <li>○児童一人一人に明確な課題をもたせるよう声かけができていない。</li> <li>○学んだことや次の学習でやってみたいことなどを振り返ることを丁寧に行うことが十分にできていない。</li> </ul>
<p>授業改善にむけての具体的方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童が主体的に学ぶことができるような魅力ある単元計画を考え、工夫していく。</li> <li>○活動の見通しを持たせ、ゴールを意識させ、共有していく。</li> <li>○思考ツールやホワイトボードの活用など、主体的に活動できるような工夫をする。</li> <li>○学年で一斉に活動を行うことで、学び合うことのできる場を積極的に展開していく。</li> </ul>
<p>読み解く力の育成</p>	



## 【授業改善推進プラン、4年 外国語活動】

児童の状況	<p>○ALTの話をよく聞き、積極的に英語でのコミュニケーションをしようとする児童が多い。一方で、ALTの話が理解できず活動に参加する意欲が低くなっている児童もいる。</p> <p>○学習した英単語や英語表現についての理解度に個人差が大きい。</p>
指導についての課題	<p>○授業中の担任とALTの役割を明確にする。</p> <p>○担任がT1としての指導力を向上させる必要がある。</p>
授業改善にむけての具体的方策	<p>○ALTや担任がジェスチャー絵カードを使用しながら、やりとりの見本を示す。</p> <p>○ペア交流やゲームの仕方を工夫し、多くの児童が意欲的に英語でコミュニケーションをとれる時間を設ける。</p>
読み解く力の育成	<p>○絵カード使用したり日本語で補足説明をしたりしながら、英語表現と日本語表現が結びつくようにする。</p> <p>○新しい語彙を確実に定着できるよう、繰り返し練習させる。</p>

## 【授業改善推進プラン、4年 特別の教科 道徳】

児童の状況	<ul style="list-style-type: none"><li>○資料を読み、葛藤場面で自分の立場を明確にし、意見を言うことができる。</li><li>○資料のテーマから、今後はどのようにしていくか具体的なイメージをもつことができる。</li></ul>
指導についての課題	<ul style="list-style-type: none"><li>○小グループでの話し合いを通して自分の考えを深めていくことができにくい。</li></ul>
授業改善にむけての具体的方策	<ul style="list-style-type: none"><li>○葛藤場面があり、議論がわきおこるような教材を吟味する。</li><li>○相手の考えを受け止め、改めて自分の意見を考えることができるようにするために時間を設定したり、書く活動を取り入れたりする。</li><li>○発問を吟味する。</li></ul>
読み解く力の育成	<ul style="list-style-type: none"><li>○登場人物の行動や前後の場面の展開から、登場人物の心情を読み取らせる。</li><li>○道徳的価値を見出した理由を含めて記述させる。</li></ul>